

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根3号炉設置変更許可）【24】
2. 日時：令和5年7月7日 13時30分～17時10分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

齋藤安全規制調整官、皆川管理官補佐、小林主任安全審査官、
岩崎安全審査官、宮崎安全審査専門職

システム安全研究部門

柴主任技術研究調査官

シビアアクシデント研究部門

塚本上席技術研究調査官、金子主任技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（原子力安全技術） 他6名

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

炉心設計部 チーフスペシャリスト 他1名

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所3号炉の設置変更許可申請書のうち、炉心解析等に用いる解析コード（LANCR/AETNA）について、令和5年6月23日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【炉心解析コード（LANCR/AETNA（審査会合における指摘事項に対する回答））】

○ 妥当性確認におけるそれぞれの不確かさの評価方法について、当該評価方法を適用する考え方を説明すること。

【LANCR/AETNA コード説明書】

○ 局所出力分布の妥当性確認について、燃料棒出力分布（ガンマスキャンとの比較）を連続エネルギーモンテカルロ計算との比較により補完していることが分かるように説明すること。

○ 局所出力分布の妥当性確認について、連続エネルギーモンテカルロ計算により補完していることを格子タイプと燃料集合体タイプ毎に整理する意味を分かりやすく説明すること。

○ 局所出力分布の妥当性確認について、10×10 模擬炉心（D 格子）に対

- し AETNA と連続エネルギーモンテカルロ計算の比較を示し説明すること。
- AETNA の妥当性確認のうち局所出力問題について、燃料集合体最大 LPF の比較を最大値ではなく全燃料棒について示し説明すること。
 - 95%信頼度—95%確率値と標準偏差の 1.645 倍の関係について、保守的な評価の考え方（上限 5%を除く考え方を含め）を示しつつ分かりやすく説明すること。
 - 中国電力（株）が解析業務を外部に委託する際の調達管理における品質保証活動について、社内規定と確認結果について説明すること。
 - 解析業務を行った委託先における LANCR/AETNA の検証のプロセスについて、定義、テストアプローチ、アクセプタンスクライテリア、テストケース等の例を示しつつ説明すること。
 - 解析業務を行った委託先における LANCR/AETNA の検証の結果について説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし